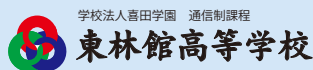


「教えて喜田先生!」子育てに悩む パパ&ママを応援!



学校法人喜田学園 通信制課程

東林館高等学校

- ◎3年で高校卒業を目指すコース
 - ◎受験対応個別指導コース
 - ◎中学生コース・社会人コース
- 目的に合わせた幅広い学びを提供しています

福山市光南町1-1-35
TEL.084-923-4543
FAX.084-926-9607



●福山駅南口から徒歩で約10分

東林館 福山

検索



学び・自立支援を通して
子どもの未来を創ります

喜田 紘平

東林館高等学校 理事長
実践心理学カウンセラー

今回のコラムでは、読者の方からいただいたご質問にお答えさせていただきました。

Q 我が家は経済的に余裕がなく、進学塾に行かせる余裕がありません。そんな状況の中で、家で子どもに何を学ばせてやればいいのか喜田先生は思いますか？

A ご質問ありがとうございます。逆に一つ質問したいと思います。「お子様が、どんなお友達を家に連れてきたらうれしいですか?」

●人間力を育てよう

玄関で「こんにちは。お邪魔します」と元気よくあいさつができる。家の上がるときには、靴をそろえられる。それから、おやつには「ありがたうございませう。いただきます」とお礼が言える。

また帰り際には「ありがたうございませう」と言えて、帰宅後その日の出来事を報告し、その子の保護者からお礼の電話が家にかかってくる。そして再び遊びに来た時には「この間はありがとうございました」とまたお礼が言える。こんなお

友達はとうとうしょうぼう思わずうれしくなって、普段はスナック菓子だったおやつも、「この子のためなら」と思わず近所のケーキ店で奮発したくなりませんか? (笑)

この礼儀こそが「人間力」の原点だと思えます。人間力は家で鍛えることが大切です。この力は社会に出てからも一生お子様の力となり、社会で活躍する素地となります。そして、お子様が自分の夢や目標を「叶えたい」と思ったとき、その夢や目標を、人に応援＆協力してもらうための大きな源となります。

人間力を身に付けるのに、家の経済力は関係ありません。しかし、この人間力を子どもたちが身に付けていくためにはとても大事なことがあります。それは保護者の方の意識です。保護者自身が「まず自分から」という気持ちを持て意識できるかどうか重要なことです。保護者にできないことは子どもにはなかなかできません。まずは保護者の方が、自分の行動を振り返ってみることがとても大切です。